



Antaŭ la kongresejo de la 102-a Universala Kongreso de Esperanto 第 102 回世界エスペラント大会の会場前で

De la 22-a ĝis la 27-a de julio 2017 okazis la 102-a Universala Kongreso de Esperanto en Hankuk Universitato de Fremdaj Studoj (HUFS) en la urbo Seulo. Aliĝis 1173 homoj el 62 landoj. 186 homoj partprenis el japanio.

2017年7月22日から29日まで、韓国ソウル市の韓国外語大学で第102回世界エスペラント大会が開催されました。62カ国から1173名の参加申し込みがありました。日本からは186名の参加がありました。



会場前の沿道には、最寄りのフェギ地下鉄駅近くから、会場の大学までの相当長い距離に渡って、第102回世界エスペラント大会のロゴの入った歓迎のバナーが、街路灯に飾られていました。

参加者には「T-money」というお金をチャージして、地下鉄やコンビニなどで使えるICカードが配られました。ソウル市からの予算で配布したそうです。

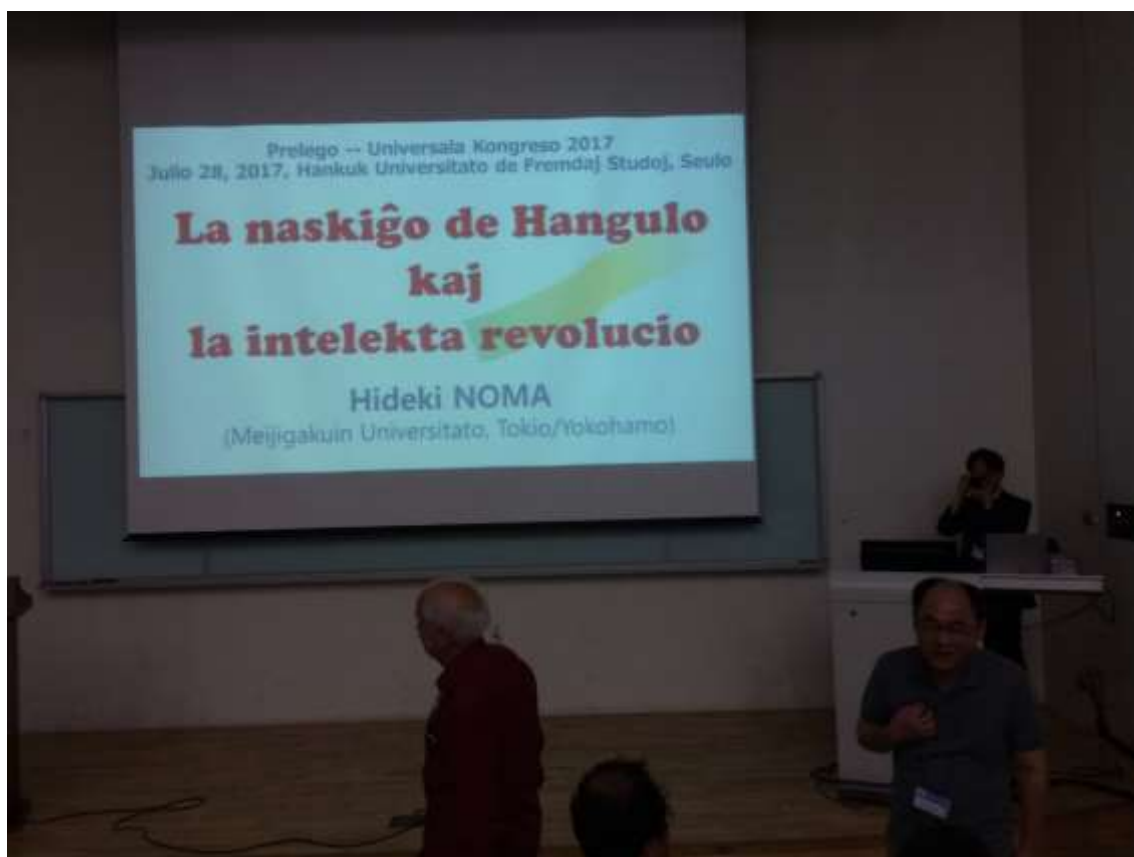


Internacia Pontkunveno por Unuiĝo de Korea Duoninsulo **韓国半島の統一のための国際架け橋会議**

28 日に開催されました。日本からは、田平さんの代わりに札幌市在住の宮沢さんが参加しました。第1回目の会議は、写真のように韓国外語大学内で実施されましたが、第2回目の会議は国会ビルまで参加者はバスで行って、通訳も付けてエスペラントを公式言語として会議を行ったそうです。

Duona tago estas dediĉita al la UK en Seulo, kiu antaŭeniras laŭplane kaj senprobleme, malgraŭ lastatempaj politikaj streĉoj en la regiono. Aldone al riĉa kongresa programo, tiu "pontkunveno" de diverslandaj esperantistoj diskutos en la parlamentejo pri la reunuiĝo de la korea duoninsulo. (El Gazetaraj Komunikoj de UEA)

最近の政治的緊張にも関わらず、計画通りに何の問題もなく前進しているソウルでの世界エスペラント大会(UK)に半島の日が充てられました。加えて、内容の豊かな大会プログラム、すなわち「橋渡し会議」に、色々なエスペランチストが韓国半島の統一について国会で議論をします。(UEA のプレスリリースから)



Prelego: La naskiĝo de Hangulo kaj la intelekta revolucio

講演: ハングルの誕生と知的革命

28 日(金)15:30 から、韓国語の専門家と言語学者の明治学院大学の野間秀樹客員教授からエスペラントによる講演がありました。野間教授は韓国語の興味深い色々な著作を出版しています。『ハングルの誕生』という新書は面白かったです。札幌でも数か月前に日本語で似たような講演がありましたが、エスペラントでも講演するとは思わなかったので、驚きました。東北大学のエスペランチストである後藤齊教授の監修があったようです。

Kongresa libro (大会プログラム)には、この講演の説明の冒頭に以下のようなことが書かれていました。

Kiam nova skribo naskiĝas, kion ĝi sekve aoportas al la koncerna socio? Kiel la “skriba lingvo” evoluas? Kiel la homa intelekto transformiĝas? Kaj kiel ĉio tio influas la homan vivon?

新しい表記体系が生まれる時、続けて関係する社会に何をもたらすだろうか? 「書き言葉」がどのように発展するだろうか? 人間の知性はどのように変わるだろうか? そしてこのすべてのことが人間の生活にどのように影響するだろうか?



Hun Min Ĝong Um

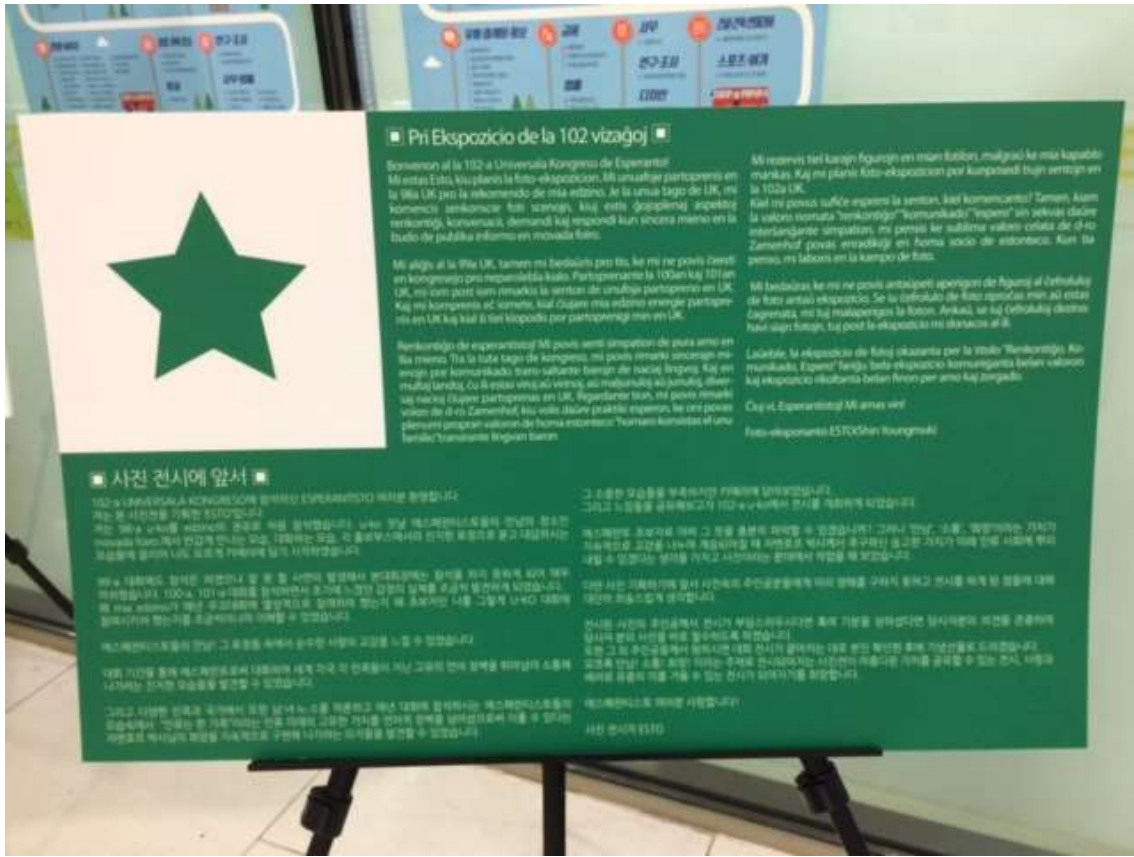
訓民正音

訓民正音(くんみんせいおん、훈민정음)とは、「民を教える正しい音」という意味で、李氏朝鮮第4代王の世宗が15世紀に制定した文字体系ハングルの古称、あるいはそれについて解説した書物のことです。世宗は、多くの民衆たちが漢字を学び使うことができずに、意志の伝達が難しく、犯罪裁判などで不公平な待遇を受けることなどの状況を打開するために、朝鮮固有の文字の創製を積極的に推し進めました。

大会プログラムには、以下のように書かれています。

“Hun Min Ĝong Um” aŭ Hangulo, kreita en la korea lingvosfero de la 15-a jarcento, estas unika skribsistemo, el kiu originis “skriba lingvo”, kies evoluprocezon ni povas traspuri.

15世紀の韓国の言語圏の中で創製された「訓民正音」またはハングルは、唯一の表記体系であり、そこから「書き言葉」が生まれ、その発展過程を痕跡を通してたどることができます。



Pri Ekspozicio de la 102 vizaĝoj
102 の顔の展示会について

会場の一階受付の奥に展示されていました。最初に以下のようなことが書かれてました。

Bonvenon al 102-a Universala Kongreso de Esperanto!

Mi estas Estro, kiu planis la foto-ekspozicion. Mi unufoje partoprenis en la 98a UK pro la rekomendo de mia edzino. Je la unua tago de UK, mi komencis senconscie foti scenojn, kiuj estis ĝojoplenaj aspektoj renkontiĝi, konversacii, demandi kaj respondi kun sincera mieno en la budo de publika informo en movada foiro.

第102回世界エスペラント大会へようこそ！

私は、写真—展示会を計画した管理人です。私は妻の推薦によって第98回世界大会に初めて参加しました。世界大会の最初の日に、運動の祭典の中の公開情報ブースで、誠実な顔つきで、出会ったり、おしゃべりしたり、質問したり、答えたり、というような喜びにあふれている様子の光景を無意識に写真を撮りはじめました。



Pri Ekspozicio de la 102 vizaĝoj
102 の顔の展示会について



Solena Fermo

閉会式

29日 10:00-12:00 に開催されました。

会場は大学内のオバマホールです。

来年 2018 年の世界大会はポルトガルのリスボン (Lisbono)、2019 年はフィンランドのラフティ (Lahti)、2020 年はカナダのモントリオール (Montrealo) という案内がありました。



世界エスペラント大会終了後に SAT 大会会場へ移動するために、このバスで移動しました。



SAT 大会のプログラムが、主会場の前に出てました。